

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 10 日

事業名称		企画業務費 [東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催気運醸成事業等]								
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 7	企画費	事業番号	1		
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)									
担当部署・課長名	企画		課		企画		担当	課長名	荒井 亮二	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	行 - 2		
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現							総合計画書 (ページ)	122		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	①市民 ②総合案内板 →				①市民の数(4月1日現在) ②総合案内板の数					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	①東京2020大会開催気運の醸成を図るとともに、大会の感動や記憶を共有する。 ②東京2020大会の開催を契機に、外国人来訪者や外国人居住者が、言語の違いによって感じる不安や不満を軽減し、旅行や生活をしやすい環境を整備する。 →				①参加者の人数 ②多言語化した総合案内板の数					
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	①-1 東大和市出身のプロ野球選手であり、オリンピックに出場経験のある岩隈久志選手を招き、いじめ予防に取り組む「BE A HERO」プロジェクトを開催した。 ①-2 東大和市成人式において、啓発品の配布、啓発パネル等展示を行った。 ①-3 東京都から提供された啓発品(チラシ、パンフレット、のぼり旗 等)を活用した。 ② 総合案内板で表示している公共施設・地名・道路等の名称を多言語化した。				①-1 参加者420人に、いじめ予防に関する講義や、オリンピックに関する内容のトークショーを行った。 ①-2 新成人589人に啓発品を配布し、啓発パネル等を観覧いただいた。 → ①-3 各公共施設等に啓発品を掲出した。 ② 市内3箇所(東大和市駅前、上北台駅前、玉川上水駅前)に設置している総合案内板の案内情報を更新するとともに、公共施設・地名・道路等の名称を多言語化(日本語、英語、中国語、韓国語)した。					
3 経費	事業費(実績)		単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標		
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標		
	対象指標	①の数値	①人 ②箇所	①85,698	①85,337	①85,266 ②3				
	成果指標	②の数値	①人 ②箇所	①606	①569	①1,009 ②3				
	目 標	②の目標値								
	目標値設定の考え方									
3 経費	活動指標	③の数値	人	①-2 606	①-2 569	①-1 420 ①-2 589 ② 3				
	財源	一般財源		円	453,600	453,600	2,888,168	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
		特定財源		円	226,800	226,800	2,444,000			
		(うち受益者負担)		円	0	0	0			
		所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.3				
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0				
	人件費(目安)	職員人件費(再任用以外)		円	1,650,600	1,648,800	2,493,000			
		職員人件費(再任用)		円	0	0	0			
事業費+人件費		円	2,104,200	2,102,400	5,381,168					
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成25 年度							
	(2) 環境の変化 市では、平成30年度に、市の基本的な考え方や取組項目をまとめ、共通認識の下で各取組を推進していくことを目的として、5つの取組方針を定めた「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた東大和市取組方針」を策定し、その方針の実効性を確保することを目的として、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた東大和市アクションプラン」を策定した。その方針及びアクションプランに基づく取組として、平成31年度については、新たに、東大和市出身のプロ野球選手であり、オリンピックに出場経験のある岩隈久志選手を招いた「BE A HERO」プロジェクトや、市内3箇所(東大和市駅前、上北台駅前、玉川上水駅前)に設置している総合案内板の多言語化を実施した。									

事業名称	企画業務費 [東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催気運醸成事業等]				
担当部署・課長名	企画	課	企画	担当	課長名 荒井 亮二

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	平成31年度に実施した「BE A HERO」プロジェクト参加者から、東大和市出身のプロ野球選手であり、オリンピックに出場経験のある岩隈久志選手と触れ合えたことが、大変貴重な経験となったというご意見をいただいた。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☒ 取り組んだ ☐ 取り組まない	取組手法：⑥			
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体：チラシ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
	東京2020大会に関する取組のうち、大会開催年度に実施を予定している東京2020聖火リレーについて、ボランティア募集に関する広報手段を工夫する必要がある。				
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）				
	施策名： 効率的でスリムな行財政運営の実現				
	☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）				
	☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止				
	【取組内容】				
	令和3年度（2021年度）は東京2020大会開催年度であることから、東京2020大会開催気運醸成や大会の感動や記憶を共有することを目的に、各種大会開催関連事業を実施する。特に、市内を巡る東京2020オリンピック聖火リレー及び東京2020パラリンピック聖火リレーの実施にあたっては、東京都や（公財）東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と連携を図りながら、市民の感動や記憶を共有できるよう着実に実施する。				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
	事業実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止への対策が必要である。				